

平成〇年（〇）第〇号 窃盗被疑事件

被疑者 ○ ○ ○ ○

勾 留 取 消 請 求 書

平成〇年〇月〇日

〇〇地方裁判所刑事部 御中

弁護士 ○ ○ ○ ○

上記被疑者に対する窃盗被疑事件につき、〇〇地方裁判所裁判官のした勾留の裁判に対し、下記の理由により、勾留を取り消すよう請求する。

記

第1 はじめに

被疑者に対する勾留の裁判の後、被害者への金員の弁償がなされ、被害は回復されたといえる。

この事件は、被疑者の所持金が底をつき、空腹に耐えかねて、店からおにぎり等を万引きしたものであるが、被疑者の銀行口座には、〇月〇日に障害年金〇万円が入金され、現在は生活に困ることはない。

今回の勾留により、被疑者は反省を深め、今後の生活には被疑者自身が注意することに加え、〇〇市役所〇〇支所生活支援課所属のA氏が被疑者の生活状況を指導することを約束しており、同じことを繰り返されることはない。

第2 被害弁償について

- 1 被疑者は、逮捕当初より、事実を認め、被害者に謝罪し、弁償したい旨、話していた。

- 2 被疑者は、平成〇年〇月〇日、被害者に宛て、謝罪文を作成し、弁護人に交付した（資料1）。
- 3 平成〇年〇月〇日、弁護人が被害店舗店長に対し、被害金額である金〇円を弁償し（資料2）、被疑者作成の謝罪文（資料1）を交付した。
- 4 以上の経緯により、すでに被害弁償はなされ、被害は回復されている。

第3 今後の見込みについて

1 事件の経緯、被疑者の反省

被疑者は、障害年金・生活保護を受給して生活していたものであるが、事件直前時期の友人との飲食により、所持金が底をつき、空腹に耐えかねて、家の近所の〇〇で万引きに及んだものである。

計画的に年金や生活保護費を費消しなかった点については、被疑者に責められる点が強く、被疑者はそのことも含め、反省している。

また、窃盗事件が店に与える影響についても思いをいたし（資料2）、自己の甘さを痛感している。

今回、被疑者ははじめての逮捕・勾留を受け、自分の行った行為の重大さを身をもって体感し、二度と同じ過ちを繰り返さないことを誓約している。

2 被疑者へのサポート

被疑者は現在生活保護受給中であり、被疑者の担当であるA氏に連絡をとったところ、今後の被疑者の生活について、適切な指導を行う意向である旨の話をいただいた（資料3）。

第4 勾留継続が被疑者の病気に与える影響について

被疑者は現在、〇〇症に罹患し、障害年金を受給している（資料3）。

被疑者は逮捕前、〇〇メンタルクリニックに通い、リキソタン、パキシルなど合計7種類の薬を、朝に〇錠、昼に〇錠、夕食後に〇錠、寝る間に〇錠飲み続け

ていたものであるところ、現在、勾留されている間は、薬を3、4種類しかもらえず、食後に〇錠、寝る前に〇錠飲んでいるだけで、その薬は体にあわず、体調を崩し始めている。

病気については、長期間通院し、体にあった薬を飲んでいた状況で安定していたものであり、今後、薬の変化により、体調が悪化する可能性もあり、現にその症状があらわれはじめている。

そこで、早期に釈放される必要性も高い。

第5 結語

以上のとおり、すでに被害回復がなされており、被疑者は深く反省し、被疑者の周囲についても二度と同じことが繰り返されないよう整備されていることに加え、病気の関係から釈放の必要性も高い。

したがって、勾留を取り消すよう請求する

以上

添付書類

資料1．謝罪文	1通
資料2．受取証	1通
資料3．電話聴取報告書	1通